

課外講習 第2期のお知らせ(高Ⅱ)

鷗友教育研究所 担当：中村達幸

第2期課外講習は、以下の要領で行われます。内容を読んで受講を希望する人は申し込んで下さい。4月の時点で第2期講座を申し込んでいる人は今回申し込む必要はありません。なお、自分が既に申し込んでいるかどうか確認したい人は末尾のアドレス宛にメールで問い合わせください。

【開設講座】

講座名	曜日・時間
1. Ⅱ・数学ハイレベル(数学H)	火曜日 7・8時間目
2. Ⅱ・数学スタンダード(数学S)	水曜日 7・8時間目
3. Ⅱ・グリデン古文	木曜日 7・8時間目
4. Ⅱ・英語ハイレベル(英語H)	金曜日 7・8時間目
5. Ⅱ・英語スタンダード(英語S)	金曜日 7・8時間目

※ 予備校等で授業をしている先生が担当します。

※ 「数学Hと数学S」の両方、「英語Hと英語S」の両方を受講することはできません。

【授業内容】主に大学入試問題等を使用した演習。

【日程予定】第2期：9月～12月。100分授業×8回（第3期は全6回）

【費用】第2期講座 10,000円（第3期は7,500円）。2・3期合計なら17,500円

【講座内容と講師】

1. Ⅱ・数学ハイレベル 火曜 【講師】近谷邦彦

【講座内容】単なる公式の暗記によるルーチンワーク的な作業に終始せず、どのように解くか(How)ではなく、何故(Why)、そのように解くかに重点をおいて解説していきます。教科書の例題を礎に、実際の入試問題から精選して演習していきます。この演習を通して、数学的な考え方(論理の進め方)を記述答案の練習とともに養成していきます。テーマは離散数学です。海外のお友達と競争しましょう。

第1～3回

離散数学1 個数の処理

離散数学2 確率

離散数学3 格子点

第4～6回

離散数学4 整数(1)不定方程式

離散数学5 整数(2)整数の論証

離散数学6 整数の総合問題

第7・8回 数列

離散数学7 数列(1)総合問題1

離散数学8 数列(2)総合問題2

2. II・数学スタンダード 水曜 [講師] 宮内 正

[講座内容] 数学の入試問題で最頻出の分野の演習と復習を行っていきます。扱う単元は、場合の数、確率、整数問題、数列などを考えていますが、受講生の様子を見ながら調整をすることもあるかもしれません。3年生になる前におさえておきたい標準的な入試問題を中心に扱います。

また共通テストの対策問題も数題程度扱っていく予定です。

第1～3回 場合の数・確率

第4～6回 整数

第7・8回 数列

3. II・グリデン古文 木曜 [講師] 和角 仁

[講座内容] 大学の入試問題をみると、ほとんどが、和歌をまじえた文章になっています。平安、鎌倉のさまざまな物語や日記をとりあげ、そうした文章の読解には何が大切か、を詳しく説明したいと思います。特に「文法」を徹底的に仕上げたい。苦手な人はぜひ受講してほしい。簡単に、確実に満点がとれるよう指導します。

同時に和歌の表現技術についても具体的に詳しく解説したい。必ず皆さんのためになるものと信じています。一人でも多くの方の受講を願って居ります。

4. II・英語ハイレベル 金曜 [講師] 中村真一朗

[講座内容] 1学期に引き続き重要文法事項を扱います。関係詞と比較の登場です。

関係詞は理屈をおさえながら学習していけば特に難しいことはありません。雰囲気や感覚ではなく、しっかりと理解しながら進めていきましょう。

比較に関しては苦手とする人が多いようです。攻略ポイントは、分かりやすい有益な理屈が通るところはまず理屈をおさえること。理詰めの説明がすこし多くなりますが、避けては通れないのでしっかりと取り組みたいところです。

両者とも内容の濃い分野です。よって差がつく分野でもあります。しっかり習得し他の人たちと差をつけましょう。

第1回 関係詞の種類と用法

第2回 関係代名詞の省略、what の用法、慣用表現、連鎖関係代名詞

第3回 関係副詞

第4回 関係詞の非制限用法、複合関係詞

第5回 比較級・最上級の作り方、比較の基本形式

第6回 最上級相当表現、注意すべき比較構文

第7回 all the 比較級、no more than、no less than など

第8回 比較を含む慣用表現

5. II・英語スタンダード 金曜 [講師] 柳澤野夢

[講座内容] 2学期の講習では、1学期に学んだ準動詞(不定詞・分詞)の確認、および動名詞を扱い、そのあと、やはり受験の重要項目となる「関係詞」を扱います。

[動名詞]

準動詞の一部として、成り立ちや使い方、慣用表現などまで、構造と文法的しくみを理解して、作文、読解に必要な知識を養います。また長文読解の設問としても頻繁に出題される重要な分野です。

[関係詞]

文法事項としては、仕組みや使い方を理解することが重要で、用法も多様なため、体系立てて学ぶことが大切な分野です。空所補充問題などではもちろん、英文解釈・英作等で狙われやすい箇所だけに、確実な知識が必要になります。きちんと理解すれば大きな得点源となら項目だけに、しっかりと時間を取って身につけてもらいたいと思っています。

[2学期中には基本的な用法までしかできないと思いますが、受験生にとって最も理解に苦しむ単元ともいえる比較表現を整理しておきたいと思います。]

これまで参加してくれていた方々はもちろん、第二期から始めてみようと思う方も、ぜひご参加ください！

第1回: 準動詞の復習。動名詞の基本的な使い方。

第2回: 動名詞の否定、意味上の主語、完了形。

第3回: 慣用表現、動名詞のまとめ。関係代名詞の基本、that の注意点。第4回: 連鎖関係代名詞、前置詞＋関係代名詞、関係代名詞 what とその慣用表現。

第5回: 関係副詞の基本と応用

第6回: 関係詞の非制限用法、複合関係詞他

第7回: 関係詞の復習、まとめ。実践問題への対応。比較の基本

第8回: 比較の用法 原級

【申し込み方法】

1.受講料を振り込む

1講座 全8回(第2期)で10,000円。

(第3期は全6回のため、第2期・第3期同時に申し込む場合は計17,500円)

振り込みには2つの方法がありますが、**Aのネットでの振り込みをお勧めします**。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(ゼロイチキョウ店)

預金種目: 当座

口座番号: 0615705

メッセージ欄がある場合は「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。(例 2A1 カモトモコ)

メッセージ欄がない場合は、下記アドレス宛てメールにてお知らせください。

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7- 615705

1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 (講習料)円

通信欄 「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

2.下の Google Forms に必要事項を入力して送信する。

ホームページまたはQRコードから入力する

→ <https://onl.la/QVv6ckR>

締め切りは8月28日(月)



【備考】

- ・第2・第3期をまとめて申し込むことができます(両方で17,500円)。
- ・1回の振り込みあるいは1枚の振替用紙で複数講座の入金をして結構です。
- ・講座番号「1」と「2」を同時に、あるいは「4」と「5」を同時に申し込むことはできません。
- ・既に申し込んである人は今回申し込む必要はありません。申し込んであるかどうか分からない人は下のアドレス宛メールで問い合わせてください。

※ 質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合などはメールで問い合わせをしてください

→ kyoikuken@ohyu.ed.jp